

グローバル COE 統合物質科学セミナー 開催報告書

(理学研究科) 林 民生

研究集会名：理学研究科化学専攻 有機化学セミナー

演者：Prof. Michał Pietrusiewicz

Maria Curie-Skłodowska University, Poland

(マリー・キュリー・スクウォドフスカ大学)

演題：P-Stereogenic Phosphorus Compounds. New Synthetic Methodologies and Use as Chiral Ligands

(リン中心不斉化合物. 新しい合成法とキラル配位子としての応用)

場所：京都大学大学院理学研究科化学専攻 理学部 6 号館 402 号室

日程：2011 年 6 月 29 日 16:30–18:00

総参加者概数：約 30 名

講演内容：

Michał Pietrusiewicz 教授は、テトラヒドロホスホールを基本骨格とする P-キラルホスフィン配位子の開発に取り組んできた。今回の講演では、その中からモノホスフィン一つとビスホスフィン二つの合成法、および、ロジウム触媒を用いるオレフィンの不斉水素化におけるそれら配位子の不斉収率に対する効果について、取りあげられた。ビスホスフィンについては、ロジウムにキレート配位して 5 員環および 6 員環を形成するものをそれぞれ合成し、quadrant model の概念から、それぞれが構築する不斉環境に関する考察について、特に詳しく述べられた。

